

CELULAS



ピアザ
NPO法人 多言語広場セルラス

2018
Vol. 10

世界に通じる人材の育成をめざして

CONTENTS

- P.2-3 世界が広がる! 人がつながる!
セルラスのホームステイ受け入れ
- P.4-5 みんなはどう考えてる?
「ピアザ」&「多言語」
- P.6 セルラスの活動を楽しむ
～セルラスシニアメンバーだより～
- P.7 セルラス新言語CD制作決定!
世界のレシピ
フローザンさんのアフガニスタン家庭料理
- P.8 INFORMATION



現在関西では、様々な団体からの依頼を受けて、いろいろな国の留学生、社会人のホームステイ受け入れを実施しています。今回は、兵庫県国際交流協会と、大阪学院大学CETアカデミックプログラムを通しての受け入れの様子をご紹介します。



セルラスのホームステイ受け入れには、海外からのゲストを「家族の一員として迎える」という基本理念があります。ですから、基本的には無償ボランティアとして受け入れます。一緒に過ごすことで、ゲストの国のことを学べるだけではなく、日本の文化や習慣を紹介する機会となり、多文化・多言語理解体験の大きなチャンスになります。

ミユラル君@マレーシア フレディ君@インドネシア with 小林ファミリー(西明石P)



初めてのムスリム(イスラム教徒)の方の受け入れということで、食事面が少し気がかりでしたが、事前に送られてきた爽やかな2人の写真に、不安も吹き飛びました。

彼らの国は手食文化ですが、我が家ではお箸を使って食べてくれました。朝食に出した焼鮭に、悪戦苦闘しながらも、一生懸命ほぐして食べる姿に、愛おしさを覚えました。また、お寿司やたこ焼きなど、なんでも食べようとしてくれましたが、七味をかけていたのが印象的でした。やはり、辛いチリベースがお好みだったようです(笑)

文化、習慣は違えども、2人はとても礼儀正しく、素晴らしい好青年でした。彼らが帰った後、きれいに畳んでくれた布団を目にすると、寂しさがこみ上げてきて、なかなか片付けられませんでした。

「インドネシアとマレーシアに新しい息子ができた。」
「自分の息子にも、彼らのような青年に育てて欲しい。」



こういう気持ちが大きくなった受け入れでした。これからも親子共々、セルラスの活動を通して、世界の素晴らしい人たちに出会い、刺激を受けたいです。



アリサさん@アメリカ with 岡ファミリー(宝塚P)



今回の受け入れでは、驚いたことに小1の娘の方から「一緒に遊ぼう!」とアリサに声をかけていました。普段は日本人の大学生と寮生活をしているアリサですが、初めてのあやとり体験や、子供たちの早口の日本語に四苦八苦しながらも、本当に優しく付き合ってくれました。

奈良に行って、一緒に勾玉作りや組紐作りを体験したり、宝塚では神社めぐり、歌劇場付近の散策をしました。その時々で、子供たちの成長も垣間見ることができて、充実した時間を過ごせました。

人と向き合う経験は、実際に体験して初めて気付くことも多いので、これからも、いろいろな方と交流する機会を積極的に作っていきたいです。

また、コミュニケーション力は、心を開き人と向き合い、経験を重ねることで、少しずつ身に付けることができるのだと、このような受け入れや、日々のピアザ活動を通して感じています。

セルラスに入会して、約1年が経ちますが、家族で楽しく続けられる環境に、大変感謝しています。



マヌエル君@メキシコをつないだ 全国セルラスメンバーの輪



長富ファミリー(狹窪P)



吉屋&尾本ファミリー(溝の口P)



岡ファミリー(宝塚P)



メキシコホームステイ交流でお世話になったホストファミリーの1人、マヌエル・ダニス君が来日! 大学でピアノを専攻し、日本文化が大好きで、日本で叶えたい夢が沢山ある! という彼の為に、関東と関西のメンバー家族5組が、それぞれに願いを叶えてあげようと大奮闘! 優しく、気遣いがあり、家族思いの人柄にすっかりみんながマヌエルの大ファンに! 別れを惜しみながら、約1カ月のホームステイをつなぎました。

関東から関西へ!!
¡Vamos!



9日間の滞在で、彼を通して、メキシコの時間の感覚、物事に対する寛大な考え方、柔軟な姿勢を見て、元来ゆったり者の私も学ぶ場面が沢山ありました。とにかく楽しい時間でした!

加藤ファミリー(宝塚P)



¡Gracias todos!

受け入れ初日と5日経った最終日の家族とマヌエルの距離感まるで違うもの! 私達はすっかり家族です!彼のピアノに合わせて歌って踊った思い出は、家族の大切な宝物です!

別れ際、見送る小5の娘がポロポロ泣き出した時は私ももらい泣き。翌朝彼が大阪に到着するまでは、息子を1人旅に出したような気持ちに。数日の滞在でも、こんな気持ちになるのですね。

その時やっていたロールプレイの場面をマヌエルのスペイン語で聞いたら、今まで聞こえなかった音が聞こえてきました! スペイン語がぐっと近づいた気がします。

受け入れつながる!

人が

関東

関東は、韓国・メキシコ以外に、4年前からモンゴルの高校生のホームステイ受け入れを始めました。以前、セルラスサマーキャンプ留学生リーダーをつとめた、アマラのホームステイ体験がきっかけです。そこからの広がりをご紹介します。そして新たに、シンガポールの大学生の受け入れも始まりました!



こんにちは、アマラジャルガル A.です。現在、モンゴルの大学で教育学を教えています。2014年、モンゴルの校長先生から、日本でされる、ロボットアメリカンフットボール大会に、生徒を引率する上での相談を受けました。より良いプログラムにするためのアドバイスです。私は即、ホームステイを勧めました。なぜなら、私自身、日本留学中のホームステイ体験で、日本の文化や生活に触れ、人とつながることの大切さを知り、もっと積極的に人々と触れ合い、人生を豊かにすることが大事だと分かったからです。モンゴルの高校生たちも、将来を考える重要な時期に、ホームステイをする事で、異文化を知り、自分を見つめる機会を持ち、他人であっても家族のように受け入れて下さることへの感謝の気持ちや、物事を新たに見る力が育つのではないかと思います。



2010年2月
左:アマラさん
右:守田さん



2017年7月
モンゴルへ
ホームステイ



4年前にアマラから受け入れの相談を受け、毎年コーディネートしています。昨年夏には、私と娘がモンゴルを体験し、ホームステイに行くことができました!そこで交流したフランス人が秋に来日し、我が家にホームステイ。ピアザで夢を語ってくれたり、手遊び歌を教えてくださいました。交流の輪がどんどん広がります。
守田美和(横浜P)



2017年9月
モンゴルで出会った
フランス人カップルが、
我が家にホームステイ!

楽しかった今年(2018年)の受け入れの様子

イヘバヤル君
@モンゴル
with
船田ファミリー
(海老名P)



不思議なことに、たった一日過ごしただけで、遠いモンゴルにもう一人かわいい息子ができたような気がします。母:由香里

さいしょはわからなかった英語が、だんだんわかる気がしたよ。大翔



ホテルのシャワーしか知らなくて、お風呂にびっくりしていたよ。パパと一緒に入り方を教えてあげました。諒太



Erkhem was very polite & curious boy! I was eager to give him convincing answers about my own culture. 邦太郎

My host was the best foreign family I've ever met!
Erkhem

昼間一緒に遊んでいるときから、明るくて楽しい子で、夕食も沢山食べてくれました。来年も受け入れたいです! 母:ゆかり

エルヘム君
@モンゴル with
大庭ファミリー
(横浜P)



デイビッド君@シンガポール with 五箇ファミリー (荻窪P)

五箇さんの家にはかわいい2人の男の子がいます。いつも元気で僕といろいろなことを話しました。そして一緒にピアノの「メヌエット」という曲を弾きました。今後この曲を聴くとき、きっと五箇さんの家を思い出すでしょう。デイビッド

我が家での3泊終了後、子供たちの熱い希望で、ホテルでのステイ予定をキャンセルし、再び3泊我が家に!またぜひ会いたいです。母:貴子



この夏、家族でデイビッドに会いにシンガポールに行きます。楽しみです! 恵史&泰史



2013

初めてのホームステイ!
ホームシックも今では
良い思い出です!



韓国ホームステイからつながる家族の輪



東高円寺Pの戸塚萌絵さん(中3)は、2013年夏に韓国青少年アンニョンハセヨ交流への参加をきっかけに、ホストファミリーと家族ぐるみで交流を続けています。

2014

翌年は母が一人でセルラス韓国家族交流に参加!娘と同じホストのお宅にホームステイして、オンマにはキムチ作りを教わりました!

ホストオンマの
オ・ソソヒさん



2016

親子二人で韓国を訪れ、ソウルでホストのオンマと再会しました!!

2017

ホスト家族が初来日!! 最終日、韓国に帰りたいと言ってくれたことが、何より嬉しかったです。

「ピアザ」(※注) & 「多言語」



みんなは
どう考えてる？

今年のリーダーズトレーニングキャンプのディスカッションテーマは「ピアザ」そして、ピアザを語るのに欠かせない「多言語」でした。テーマが発表されてから、リートレ生だけでなく、大人も子供もピアザで話し合ってきました。これらのテーマを考えることは、何のためにセルラスをやっているのか？という自分たちへの問いかけにもつながりました。ここでは、沢山あがったメンバーの意見の中から、いくつかご紹介します。私たちは、これからもセルラス全体でこのテーマを追い続けて行きます！

(※注)ピアザ…セルラスのメンバーが地域で集まり多言語活動を行う場

一人だけでは考えつかない
発見がある！

ピアザは成長できる場所だと思います。一人だけでは考えつかない目線でいろいろな発見を教えてくれて自分の+αになるし、メンバーの憩いの場だと思います。(上野朔太郎・中2)

発見の場

違いに
気づける場

自分たち一人ひとりの考えを聴いて、答えを作り出せるからこそ、それぞれの違いに気づける場。(山崎萌衣・中1)

多様な人から学べる

ピアザでは大人からはもちろんだけど、小さい子からも学べる。彼らは吸収力があって、自分には聞こえないCDの音も聞いて言えるから。(稲垣颯斗・中3)

受けとめ合う場

ピアザはいろいろな壁が無い。だからなごみの場(依田侑大・中2)

ピアザで育つ「話す」自信

世界の人と話がしたいなら、まずはピアザでたくさん話をしよう！(公田穂乃香・中1)

新しい世界を
見つけるためにある！

ピアザは好奇心を作るところ。周りの人の話から自分の知らない世界に引き付けられる。自分の知らない世界に行くのは怖いから普段は殻を作ってしまうが、その殻をちよつとずつ破って新しい世界を見つけるためにピアザがある。(日高昊也・中1)

親の背中を見せたい!!

今までは小さな子を連れて行くことだけで精一杯でしたが、下の子が5歳になり、気持ちに余裕が出てきたので、子供に「やりなよー」というのではなく、自分がほんの少しでもチャレンジする姿、楽しむ姿を見せようと思っています。そんな姿を見て小さな子たちがやってみよう、やってみたいと思ってくれたら…と思います。(大内初美)

自分が楽しむ場

ディスカッションから気付いた「楽しくなる」ヒケツ

ピアザはその土地や環境でそれぞれ違うけど、まずは自分のピアザを毎週楽しみ、それからどうすれば他の人も自分と同じくらい楽しめるかを工夫することが私たちの年代の課題。みんなが楽しめるピアザを作る難しさと、実現したらどれだけ楽しいものか、というワクワクをピアザについてのディスカッションをしながら感じた。(山川夏海・高1)

みんなで作る場

ピアザ

リーダーズトレーニングキャンプ 2018

3月29日～31日 in 静岡県三ヶ日青年の家

セルラスでは、春休みの2泊3日でリートレ生(中高生)を対象に、リーダーズトレーニングキャンプ(以下、リートレ)を開催しています。世界に通じるリーダーになる目的のため、今年のテーマである、「ピアザ」についてディスカッションをしました。また、ピアザで取り組んできた、多言語プレゼンテーション、多言語ワンマンロールプレイを行い、新しい楽しさや発見がたくさん得られたリートレ生たちでした。その中で、今回のリートレでは新しい活動「TACO」も生まれました!



多言語ってこんなにステキ!

いろいろな人と向き合いたい!

多言語をすると、人と向き合う力がつくと思います。未知のことばについて知り、伝えたいことを精一杯話すことがとても大事だと思います。そしていろいろな国の人のことを知り、人と向き合いたい!と思う気持ちになるために必要だと思います。
(荻野優美・中1)

大人も子供も同じ目線

大人も学んでこなかった多言語だから子供と同じスタートラインで始められ、同じ目線で一緒に学ぶことができる。大人は自分の目線で子供たちを下に見がちだが、子供の方が覚えや発音も良く、子供に対してリスペクト(敬意)を持つことができる。
(中西美玲)

心が開き、内面豊かに

多言語の向こうにいくつもの国があり、文化があることを知るきっかけになる。そこから知りたいという気持ちが生まれる。すると心を開いて、寄り添い、受け入れられる強さと柔軟さが育つ。それは人の内面の豊かさにつながると思う。
(羽立小枝美)

認め合う気持ちが育つ

多言語習得活動は、ことばを話せるだけが目的ではなく、人と誠実に向き合うことや、相手に興味を持ち、認め合う気持ちを育ててくれるので、日常生活の中で少しずつ気持ちが楽になったり、豊かになったりします。
(川合寛子)

多言語

「役立つ」より「楽しい」こと

「日本語と英語だけでいいや」と閉じている気持ちよりも、知らない言葉を知ることや、話を聞きたいと思う気持ちの方が強くなり、それによって豊かな心の世界や視野を広げることができるのが多言語の世界にはあります。だから、多言語は「役に立つ」という合理的な役割もありますが、それよりも、今の私にとっては「楽しいこと」というイメージが広がっています。
(古橋真希)

どんなことばでも景色があれば簡単!

セルラスに入るときにお母さんに「セルラスは英語以外のロシア語やスペイン語なんかもやるところなんだよ」と言われて「難しそう」としか思えなかったから「行きたくない」と思っていた。だけど、何回か通っているうちに「簡単なのかも」と思えるようになってきた。なんでかという、英語の先生から教えてもらったことばには、景色がないから、どんな時にどんなふうに使ったらいいのかさっぱりわからなかったけど、セルラスのことばにはそれがあるから、帰ってきたお父さんに「おかえり」と言いたくなった時に自然と「ケボノケジェガステ」と言えて楽しい。(諏訪 梓・小4)

リートレで誕生した新たな多言語活動! ☆彡

「TACO」(タコ)

(Tagengo Communication)

TACOは二人きりでするので、自分が話さなければ始まらない。だから、より話そうとする気持ちが強くなった。自分で想像していたよりも多言語が口から出てきて嬉しかった。
(林佳南子・中2)

日本語を使わずにするTACOは、最初難しいのではと思ったけど、実際はジェスチャーやいろいろな方法で、わからないことばを表現できたし、何より、ロールプレイで使っていたことばが意外とたくさん言えたことに驚いた。
(篠原沙織・中1)

何語を話せるより、相手の伝えたいことをわかろうとする努力の方が大事になってくると思う。だから相手をわかろうとする思いやりが育つと思う。
(田代よう子)



セルラスでは、ピアザで楽しく多言語が飛び交う環境創りを目指しています。今回のリートレでは、他己紹介をするのに、ペアになった相手に自分のことを話したり、相手の話を聞いて質問するのを、多言語でやってみよう!と試みました。すると、自分の中に育っていたことばが引き出されたり、ことばだけでなく、ジェスチャーを使ってでも、何とか相手に伝えたい、相手のことを知りたいという、コミュニケーションに大切な気持ちが育っていたことに気付くことができました。そして何よりも、多言語で話すことって楽しい!と、リートレ生たちに大好評の活動でした。今後は、他己紹介という形にとらわれずに、様々な形で多言語を積極的に話していく目的で、「TACO」という名前となり、ピアザで、そしてセルラス全体で、楽しんでいくことになりました!

セルラスの活動を楽しむ ～セルラスシニアメンバーだより～

こんにちは。現在63歳、
2児の母でなく祖母の長澤です。
私は以前、別の多言語習得団体に
家族で参加し、子供たちは、
その活動の中で成長させて
いただきました。ただ一つ
残念だったのが、多言語を習得
している実感がなかったことです。留学を経験し、
英語や韓国語を話す娘たちを見て「やはり外国に
住まないと話せるようにはならないのかな?
若くないと無理なのかな?」と感じていました。



長澤 範子さん(宝塚ピアザ)

ただ言えるためだけのロールプレイ

10年前にセルラスの講演を聞き、以前の団体には
無かった、ロールプレイ(以下、RP)の話が出て
きました。それを聞いて「ダメ元で試してみるか」
くらいの思いで、私1人入会しました。その頃のRPは
現在と随分違いました。一生懸命シャドーイングして
覚えて、言えるようになってから、みんなで役決めして
RPする。RPは発表するためのもの?
と思えましたし、話せる実感は
ありませんでした。それでも
ピアザに行くと、大きな声で自己紹介
できるようになった子、自ら手を挙げて
発表する子、自分より小さい子の面倒を
みてあげられるようになる子、堂々と
プレゼンする子など、子供たちの成長を
見るのは楽しく、そのために活動に
参加していました。

人に向かって表現するロールプレイ

5年くらい前からでしょうか、RPが「発表」から、
「人に向かって表現」するものになってきたと感じ
だしました。そうするうちに、自分が少しずつ変化して
いきました。日本語でしっかり状況を把握して、
言えないうちからことば(外国語)だけでなく全身を
使って、相手に伝える。伝え合うRPをしていると、
たとえそれが、講演会でRPを見せる場であっても、
見ている人に今、自分がどんなことを話しているのかを
分かってほしいと、一生懸命な自分がいました。

また、どこの国の人でも関係なく話しかけるようにも
なっていました。知らない人に声をかけるなんて、
以前の私には考えられないことです。もちろん、急に
言える外国語が増えた訳ではありません。
RPを一生懸命する中で、たとえことばは一言でも、
伝えられることは沢山あると実感できたからでしょう。
そして何より人と話すことが楽しくなりました。

勝手に口から出てくることば

ある時、青少年サマーキャンプで留学生リーダーを
つとめてくれた中華系マレーシア人のご両親が、ピアザに
来られたことがありました。セルラスの子供たちが
お世話になったお礼を言いたいなと思い、そばに行って
口から出た言葉は「ニーメンダ ア〜ツ ヘン ハオ。
シェシェ シェシェ。」どうやら伝わったらしく、
嬉しそうに笑ってくださいました。気持ちが伝わって
良かったと思うと同時に、自分の言った言葉に驚きました。
「わあ〜中国語で話しちゃった」みたいなの。「シェシェ」
という一言の中国語でも、息子さんにお世話になって感謝
している気持ちを伝えたい。「どう中国語で言おうか?」
なんて全く考えていませんでしたし、言えるとも思って
いませんでした。自分の気持ちに、あるだけの中国語が、
ふっと口から出てきた感じです。変な話ですが、言って
しまってから「今、私は何と言った?」と思い返したら、
私が伝えたいことは、全部入っていました。

「ことばに向き合うのではなく、人に向き合う」

お花見、バーベキューなど、留学生が参加している時は
「ちゃんと食べているかな?」「独りで寂しそうな子はいない
かな?」日本語を話せる、話せない、どこの国の留学生か、
そんな事は気にもせず声をかけて
しまいます。「ことばに向き合うのでは
なく、人に向き合う」とは、こういう事
なのでしょうか。細々と、でも長く
セルラスの活動を続けていたら、こんな
不思議なことが起こるんですね。今は
話せる実感という以上に、誰とでも、
何語でも、自分の気持ちを伝えられる、
それが当たり前のようになりました。



これから「TACO」(※注)が始まります。日常のピアザで
も、あるだけの言葉(日本語以外)と体全体で表現し、
伝え合う。そんな中で私はこれからどんな変化をしていく
のでしょうか? 楽しみです。(※注)TACO…P5参照

セルラスが親子三代の絆

以前、留学から帰ってきた娘に「話さなければ、
話せるようにならない」と言われ、どういうことか
理解出来なかったのですが、今は分かる気がします。
そんな娘も自分に子供が生まれると、セルラスに入会
しました。突然入会すると聞かされ、当時孫は10ヶ月の
乳児で、大丈夫か心配したことを思い出します。その孫も、
今では4歳。弟もできました。やはり、2人を連れての
参加は大変ですが、ゆっくりマイペースで、でも
しっかりとセルラスの環境の中で、子育てを楽しんでいる
ようです。別々に住んではいますが、
親子三代、セルラスという共通の活動を通
じて、お互いを理解し、より豊かな
日々を過ごしたいと思っています。



セルラス新言語CD制作決定!!

言語：フランス語

場面：世界編の英語版

Bonjour

Merci

新しい言語のCDで、新たな扉を開こう!

全メンバーに、新しい言語の希望と、ストーリーに関するアンケート調査を実施しました。皆さん、短い期間でのアンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

アンケート調査報告書でもお知らせしましたように、第1希望は圧倒的にフランス語でした。それを受けて、理事間でも意見交換し、2020年のオリンピックが近いこと、五輪の第1公用語がフランス語であることや、話す人の多さを考慮して、新しい言語はフランス語に決定しました!

そして、それをどのストーリーにするかも、アンケート調査では希望が一番多く、親しみがあり、イメージもついているので、子供も大人も取り組みやすいということで、世界編の英語版を、フランス語で制作することになりました。

3場面(食事、家の案内、買い物)に関しても、今回は英語版のストーリーをそのまま使用します。

どうぞ完成をお楽しみに!!

新言語CD制作プロジェクトチーム チームリーダー 佐野 美規代



作ってみよう! フローザンさんのDashi(牛肉の煮込み)と Bolani(ジャガイモ入り揚げパン) @ アフガニスタン!



Dashi は、我が家の子供たちも大好きな、アフガニスタンの家庭料理です。ぜひ、作ってみてくださいね!

<Dashi (牛肉の煮込み)> ※圧力鍋使用

<材料> ・牛かたまり肉(カレー、シチュー用):500g ・玉ねぎ(5mmの輪切り):2個 ・にんにく:2片
・サラダ油:60ml ・塩、こしょう:適量 ・コリアンダーパウダー:小さじ1/2
・コリアンダーの葉(万能ねぎで代用可):少々 ・トマト(お好みで):適宜(今回は飾りに使用)

<作り方> ①牛肉は3~4cmのぶつ切りにする。②鍋にサラダ油を入れ、油が温まったら牛肉を入れ、強火で表面を焼きつけてうまみを閉じ込める。③肉の色が変わったら、すりおろしたにんにく、塩、こしょう、水80mlを入れて、圧力をかける。(15~20分位*メーカーの使用法に従う)④鍋を火からおろし、圧力がなくなったら蓋を開け、そこに玉ねぎを入れ、再びこしょう、コリアンダーパウダーを振り入れる。⑤鍋を再び火にかけ、玉ねぎがしんなりするまで中火で煮込んでできあがり。⑥器に盛り、お好みでコリアンダーの葉、またはネギを散らして完成。



アフガニスタンでは、お肉は必ず洗って使うのだとか。日本にはない習慣ですね!

<Bolani (ジャガイモ入り揚げパン)>

<材料> ○生地 ・小麦粉:250g ・サラダ油:小さじ1/2 ・水:120~130ml ・塩:小さじ1/2
○具 ・じゃがいも:3個 ・万能ねぎ(小口切り):1/2束 ・塩、こしょう:適量
・トマト(5mm角、水分も捨てない):1/4個 ・コリアンダーパウダー:小さじ1/2

<作り方> ①生地を作る。ボールに生地材料すべてを入れ、手でこねる。②弾力ある生地になったら丸く1つにまとめ、ボールにラップをかけて30分寝かせる。③具を作る。じゃがいもを皮付きのまま縦半分になり、柔らかくなるまでゆでる。④茹であがったらざるにあげ、皮をむき、ボールに入れてつぶす。⑤④に万能ねぎ、トマト、塩コショウ、コリアンダーパウダーを入れてよく混ぜる。(味を見て好みの味に)⑥②の生地を6等分して丸め、麺棒で直径約20cmに丸く伸ばし(最後は手の平を使う)生地の上半分に具を広げてのせる。⑦下半分の生地を折りあげて上の生地にしかりくっつけ、半月型にする。⑧フライパンに1cmほど油をしき、油があたたまった⑦を入れ、両面が薄く色づくまで揚げ焼きにして完成!

メンバーみんなでBolani 作りに挑戦! 生地を広げるのは少し難しかったけどとても美味しく出来ました!



行こうよ!! MultiLingual Piazza CELULAS Youth Summer Camp 2018



今年も、ワクワクいっぱいサマーキャンプの季節がやって来るよ! 小学3年生以上のセルラスメンバーのみんな! 留学生リーダー、Jr.リーダー、そして全国の仲間と一緒に、楽しいキャンプを作ろう!

日時 : 8月19日(日)~8月22日(水) ※3泊4日
 宿泊先 : 三島市立箱根の里 (静岡県)
 募集人数 : 関東・関西 合計 120名
 募集〆切 : 7月14日(土)

キャンプに参加出来ない青少年や大人も一緒にピアザで準備をしながら、キャンプキッズを送り出して下さい!

We are Jr. leaders in 2018! みんなに会えるのを楽しみにしてるよ!



yukina



sakutaro



kanako



keisei



mayu



nanami



tamako



moe

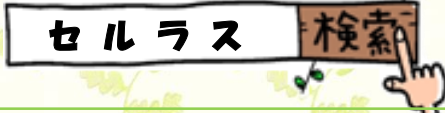


yota

寄稿文&4コマまんが随時募集中!

(詳細は、本部事務局広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。詳しくはセルラスホームページをご覧ください!メルマガも随時配信中!



発行元

ピアザ セルラス

NPO法人 多言語広場CELULAS

本部事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュース付1038

TEL : 03-5333-8202 (代表) FAX:03-5333-8203

関西事務所

〒553-0007

大阪府大阪市福島区大開1-10-10

TEL&FAX : 06-7493-7931 (代表)

URL : <http://www.celulas.or.jp>

e-mail : info@celulas.or.jp

= 編集後記 =

ボンジュール! 新言語がフランス語に決定しました。CDの完成が待ち遠しいですね! (≧▽≦)

今回の機関紙は、私たちの活動の核となるもの、「ピアザ」「多言語」についての話題を取り上げましたが、いかがでしたでしょうか?

私たちの活動は「見つける活動」です。リートレ生たちは「TACO」という新しい活動の中で楽しさを見つけました。

私のピアザでは、リートレ生の姿を見て、小さい子や大人も、変わりはじめています。これから様々な体験ができる夏を迎えますね。この夏サマーキャンプに出掛ける小学生たちが、何を見つけて帰ってくるのか、今から楽しみです。

I can't imagine how wonderful their summer is going to be!



広報プロジェクトチーム一同